



どうして
鬼を

やっつけるの？



節分(2月3日)

節分は「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味をこめて、悪いものを追い出す日。

「鬼は外、福はうち」と言いながら豆まきをするヨ。

どうして2月3日なの？

節分という言葉には「季節を分ける」という意味があります。昔の日本では、春は一年のはじまりとされ、特に大切にされたそう。そのため春が始まる前日、つまり冬と春を分ける日だけを節分と呼ぶようになったんだそう。

ちなみに暦の上で春が始まる日を「立春」(2月4日ごろ)と呼ぶので、立春の前日だから、節分は2月3日に行われるんだそう。

どうして鬼をやっつけるの？



その悪いものを「鬼」と呼びます。

鬼って聞いたたら、どんな姿を思い浮かべるだろう？

ツノの生えた赤色や青色のこわ〜い姿を思い浮かべる人が多いでしょう？

実はもともと鬼の姿は決ってなかったんだそう。見えないう悪いものを鬼と呼んでいて、いろいろなお話を通じて、だんだんと今の姿になっていったそう。

どうして豆をまくの？

悪いものを追い払い福を呼び込むために豆をまきます。鬼に炒った豆をぶつけて、悪いものを追い出すというイメージ。ず〜と昔に鬼を豆で退治したところから由来しているそう。

どうして「炒った」豆なの？

もし火を通さずに、そのままの豆をまいて芽が出ちゃったら大変！芽が出て追い出したはずの悪いものが育たないように炒った豆を使うそう。

どうやって過ごす？

豆まきをしよう

「鬼は外！福はうち！」のかけ声と共に豆をまいて鬼をやっつけよう。

豆を食べよう

豆まきをした後は、豆を食べましょう。

豆を自分の歳の数だけ食べると、体が丈夫になって病気になるにくいと言われています。

場所によっては自分の歳の数よりも1つ多く食べるとこるも... 数をかぞえながら食べてみましょう。

節分の日の夜に、その年の恵方を向いて、願いや事を思いながら一言も話さずに食べると、願い事がかなうとも言われています。



西南西